

ワーカーズ・コレクティブ全国会議 in 東京

ひとりひとりが大切にされる地域社会をつくる ～ワーカーズ・コレクティブはまちのコーディネーター～

12回目を迎えたワーカーズ・コレクティブ全国会議が、2015年12月5・6日に東京で開催され、各地から約930人が集まりました。北海道からは50名が参加し、全体会や分科会、懇親会などを通して全国のワーカーズと情報交換しながら交流を深めました。

スケジュール

1日目

・全体会
・基調講演
・実践報告
・懇親会

2日目

・分科会
・自主企画
・オプションツアー

全体会

基調講演 カフェからまちをつくる

世代や背景のさまざまな人々を「カフェ」でつなげる

全体会では「カフェからまちをつくる」と題して、西国分寺駅前でカフェ「クルミドコーヒー」を運営する影山知明さんが基調講演を行いました。

影山さんは35歳の時にクルミ（来る未来・種＝可能性）をテーマに、森の中に入っていくような雰囲気のカフェをつくろうと起業しました。「カフェは目的も無く人が集まれる場所。20世紀のパリのカフェで多くの天才が生れたのは、集まった人の相乗効果で天才が育ったのではないか。だから今あるこのカフェが、未来のピカソやヘミングウェイを育てる場になるかもしれない」と語りました。

クルミドコーヒーはカフェが連立する駅前にあり、競合する店舗はたくさんありますが、7年間の平均成長率は20%。「夢もそろばんも叶えたい」と言います。また、「事業計画を達成する事に必死になるあまり、毎日起こる出会いや面白いアイデアに対するアンテナが鈍る事



配送業と就労支援事業のワーカーズ2団体が連携して行っている生前整理事業など、全国のワーカーズからの活動報告も行われた



影山知明さん

2008年からカフェ「クルミドコーヒー」、多世代でコミュニティをつくりながら暮らす集合住宅の運営を始める。「NHK NEWS WEB」火曜ナビゲーター。著書に『ゆっくり、いそげ～カフェからはじめる人を手段化しない経済～』

に気づいたので、事業計画を作りすぎるのをやめた」と、運営のコツを話してくれました。一方、スタッフの面接時には「あなたが挑戦したいこと、表現したいことは何か」と尋ねるそうですが、それは働く人によって事業内容が変わるということ。デザインが得意な人が入ればそれを生かし、お菓子作りが得意な人ならそれらを売り出す事業を展開していけるとのことでした。また、国分寺市に住む方たちを繋げたいという思いから「地域通貨ぶんじ」を作り、地域振興に貢献しているエピソードを紹介してくれました。

クルミドではコーヒー1杯が650円。決して安くありませんが、価格は働いている人の給料に反映されるので「価格に関する議論は必ずしてほしい」と強調しました。これは、私たちワーカーズの持つ「お金＝労働の対価」という理念と共通することで、今後もしっかり考えていきたい点であると思いました。（報告：むく 大熊）

第8ー働きにくさを抱えた人の就労とワーカーズ・コレクティブ

誰でも安心して働ける場が必要です

基調講演の中で、NHK解説委員である後藤千恵さんは「働かないのではなく、働けない人が増えている。人とつながりながら、誰でも安心して働ける場をつくる必要がある」と説明しました。また、就労支援事業所取材した際、引きこもりだった青年が薬物依存症の人とタッグを組み、掃除の仕事をスムーズに進めていることなどを紹介しました。就労支援を行う団体からの実践報告では、ワーカーズ・コレクティブピース（四国・松山市）代表 門田鈴枝さんが「古紙回収を行っているが、雨天や炎天下でも地域の人が回収場所で待ってくれるようになった」と、理解が広がっている様子を伝えました。（N）コンチェルティノ（東京都）代表理事 浅川悦子さんは、「コミュニケーションが苦手な人が働くうちに、意見を言えるようになり表情も変わっていく」と支援事業の意義を語りました。セーフティネットとしての行政の存在感が後退する中、ワーカーズの役割はさらに高まっていると感じた分科会でした。（報告：ブランズ EPO 谷山）



NHK解説委員
後藤千恵さん

分科会

第4ー自分たちで創る「働き場」と「働き方」

強みを生かし、チャンスを見逃さないで！



藤岡喜美子さん

非営利組織としての起業をテーマに、公益社団法人日本サードセクター経営者協会の藤岡喜美子さんによる基調講演が行われました。講演では、「つなぐ・伸ばす・提言する」機能を持ち、社会的問題の解決にあたる組織である「サードセクター」について学びました。人に影響されず、自分で人生を歩んでいくという楽しさが地域を変え、そこに「人」が集まり、場所を作る。今後の人生も、夢（ビジョン）と目標（ミッション）を持ち続けることが大切であり、自分たちは何を指すのか、強みをどう生かしていくかなど考え、チャンスを見逃さないことが起業に繋がると感じました。

講演の後には、神奈川・愛知・福島ワーカーズによる事例報告と、立教大学の学生によるインターンシップの報告がありました。出会いと会話の機会を生み出すコミュニティ作りや一緒に働く仲間の大切さなど、興味深い話を聞くことができました。（報告：まどり 橋村・ぼけっとママ 宮田）

自主企画

体操でいつまでも自立した生活を！



参加者は約30名。高齢者向けのプログラムでしたが、程よい運動量で、心も体もホカホカと温まり心地良く感じました

N健康体操指導ワーカーズの小川葉子さんによる講座に参加しました。介護保険制度の改正に伴った高齢化社会の現状を把握し、自立生活に向けた体操指導について学び、実際に体を動かしてみました。曲に合わせてダンスのように動いたり、ゲーム性もあり、楽しみながら運動できていると体感しました。また、同ワーカーズの起業時や事業展開の話も聞き、参加者皆がヒントを持ち帰ることができた楽しい講座でした。（報告：ぐるんぱ 岡田）

懇親会



東京の食のワーカーズ16団体が連携して作った、バリエーション豊かなメニューで楽しいひとときを過ごしました



かんぽ～い！

オプションツアー

生活クラブ館 徳丸・東京大仏・ワーカーズを見学

ほのぼの板橋コース



「生活クラブ館 徳丸」。デポーや居宅介護支援事業所などが同居している



徳丸1階のデポー



徳丸2階「生活クラブ保育園 ぼむ」にて昼食



「たすけあいワーカーズ あやとり」が運営する子育て支援事業所「おやこ舎」



生活クラブ運動グループや地域のネットワークがしっかり連携していたよ！